

ラッキー商会

ジュエリーメーカーのラッキー商会(甲府市湯田2丁目、望月直樹社長)は27日、女性ファッション誌などで人気の読者モデルとタイアップして開発したジュエリーの新ブランドを立ち上げる。トレンドに敏感で影響力のある読者モデルに、好みのジュエリーデザインや買い求めやすい価格を提案してもらい、「消費者目線で開発した商品」として売り出す。

読者モデルと 新ブランド



読者モデルとジュエリーを共同開発する様子
＝都内

コラボでジュエリー開発

ブランド名は「ニューヨークチーズケーキ」。ジュエリーを初めて購入する20代前半が主なターゲットで、同世代の読者モデル10人に協力を依頼。「スイート&ラブ」をテーマにデザイン案を出してもらい、素材や価格設定の意見も取り入れて商品化した。

「LOVE」などのロゴを取り入れたバングルやリングなど35アイテムを展開。シルバーや真ちゅう、10金など低価格素材を使い、3千〜8千円の手ごろな価格に設定した。デザインは細部まで、読者モデルのこだわりを反映させているという。

同社によると、人気読者モデルは「読モ」と呼ばれ、雑誌やテレビに取り上げられるほか、1日1万件以上のアクセス数を持つブログを運営す



ラッキー商会が読者モデルと共同開発した新商品